

【第1回 島根県地震津波防災対策検討委員会】議事要旨

■議事概要

日時：平成27年11月16日（月） 14:00～16:00

場所：サンラポーむらくも 2F 彩雲

出席者：岩井委員、河原委員、遠田委員、林委員、村上委員、横田委員、汪委員

議事：(1) 本委員会での検討内容
(2) 検討の流れ
(3) 想定地震（断層）の整理
(4) 地域海岸の仮設定
(5) 津波シミュレーションの計算条件設定

■主な意見等

- 検討する想定地震については、9つの断層を対象とする。
- 国は地震に関する基礎調査を継続しているが、今後、国により新たな知見が更新され、県沿岸域への影響が大きいと考えられる場合、再度検討すること。
- 国モデルの地震のマグニチュードが小数点以下2桁となっている理由を国に確認すること。
- 隣県との想定地震に差がある場合、津波浸水想定の結果は異なると考えられるため、隣県の検討結果との整合性を図ること。
- 地域海岸の仮設定数が多い印象であるため、もう少し大きな視点で県沿岸域の自然条件を捉え、同一と思われる地域海岸を結合できないか検討すること。また、地域海岸を細かく区分する必要性、用途について整理すること。
- 各地震におけるマグニチュード及び、歴史地震発生時の潮位を資料に表記すること。
- 歴史地震津波の名称は統一的な名称なのか、国に確認すること。
- 津波浸水想定について住民の利活用方策の議論も検討内容に加えることを要望する。
- 構造物被災判定に関する震度の考え方について整理すること。